

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和2年4月15日(水) 16時30分～17時30分
開催場所	市庁舎5階 災害対策本部会議室、関係機関執務室
出席者	<p>【正副本部長】市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、危機管理監</p> <p>【本部員：局】温暖化対策統括本部長、政策局長、総務局長、財政局長、国際局副局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、病院経営本部長、環境創造局副局長、資源循環局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、港湾局長、消防局長、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長</p> <p>【本部員：区】鶴見区長、南区長、瀬谷区長</p> <p>【本部員：その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスコミ公開
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 市内の状況について（報告）</p> <p>ア 感染発生の状況 資料1に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>イ 市内経済の状況 資料2に沿って説明【経済局長】</p> <p>ウ 観光施設の状況 資料3に沿って説明【文化観光局長】</p> <p>エ 公共交通機関利用の状況 資料4に沿って説明【危機管理室長】</p> <p>(2) 市の対応状況について 資料5について、各所管局長等から資料に沿って説明</p> <p>◇コールセンター【危機管理室長】</p> <p>◇医療提供体制について【医療局長】</p> <p>◇休業期間中の学習保障について【教育長】</p> <p>◇経営相談に関する相談・融資状況等【経済局長】</p> <p>◇株式会社コーエーテクモゲームス様からの1億円相当のご寄附【健康福祉局長】</p> <p>◇市職員の勤務体制【総務局長】</p> <p>(3) その他</p> <p>◇緊急事態宣言発令に伴うパスポートセンターの開庁時間の短縮について 資料に沿って説明【国際局長】</p> <p>3 本部長指示 別紙のとおり</p> <p>4 閉会</p>
資 料 ・ 特記事項	<p>1 資料</p> <p>資料1：新型コロナウイルス感染症に関する市内の状況について【健康福祉局】</p> <p>資料2：新型コロナウイルス感染症に関する対応状況（横浜経済への影響）【経済局】</p> <p>資料3：新型コロナウイルス感染症に関する観光MICEへの影響【文化観光局】</p> <p>資料4：市内公共交通機関の利用状況【本部運営調整チーム】</p> <p>資料5：記者発表資料（4月15日）【新型コロナウイルス対策本部】</p> <p>その他：緊急事態宣言発令に伴うパスポートセンターの開庁時間の短縮について【国際局】</p> <p>2 特記事項 なし</p>

昨日の時点で市内の感染者の総数は181人、4月11日には、これまで最多となる36人の感染が確認されました。4月6日から12日までの1週間の患者発生数は、前の週の2.6倍の106人となり、非常なスピードで感染が拡大しています。

横浜市は、皆様のご不安を少しでも解消するため、昨日から「帰国者・接触者相談センター」の回線を6回線から10回線に増設しました。また、17日金曜日から「新型コロナウイルス感染症コールセンター」を10回線から20回線に増設します。

緊急事態宣言後は、相談件数が特に増加し、繋がりにくくなっている状態が続いており、大変ご不便をおかけしております。ご不安を抱えていらっしゃる市民の皆様、事業者の皆様には、ぜひ増設するコールセンターにご相談いただきたいと思います。

横浜市は、「医療崩壊」を何としても阻止するため、「感染症・医療調整本部 Y-CERT（ワイサート）」を9日から本格稼働させています。

4月14日時点の横浜市の感染者数は181人です。そのうち重症の方が4人、中等症から重症の方が1人、中等症の方が11人、軽症から中等症の方が7人となっています。こういった重症・中等症患者さんを受け入れる病床として、横浜市は、市民病院、みなと赤十字病院、市大附属病院、市大センター病院をはじめ、市内の医療機関のご協力で約500床を確保しました。

また、無症状や軽症の患者さんを受け入れる宿泊療養施設として、アパホテル&リゾート横浜ベイタワーや移転後の現市民病院を活用します。今後さらに、新たな施設の確保を進め、医療崩壊を招かないための「神奈川モデル」の実現に、横浜市として取り組んでいきます。

緊急事態宣言の発出により、事業者の皆様には休業の要請がされています。今こそ横浜市として、事業者の皆様をお支えする必要があります。

また、感染者やお亡くなりになる方を増やさないと、それがコロナウイルスの感染拡大が収束した後の早期の回復につながります。

市民の皆様にあらためて、お伝えしたいと思います。

まずは、不要不急の外出を控えていただくことです。どうしても外出をされる場合は、感染リスクの高い「密閉」「密集」「密接」が重なる場所を避ける行動をとってください。そして、「こまめな手洗い」「咳エチケット」の徹底を重ねてお願いいたします。

水道事業、下水道事業、ごみの収集、市営地下鉄やバス事業などのライフラインは、しっかりと継続していきます。

また、生活必需品を購入するための外出は制限されません。必要以上の買いだめをおやめいただくなど、冷静な行動をお願い申し上げます。

横浜市のホームページでも、私からのメッセージ動画や関連する情報を掲載しておりますので、そちらもご覧いただきたいと思います。